

# パラトライアスロン概要ご案内

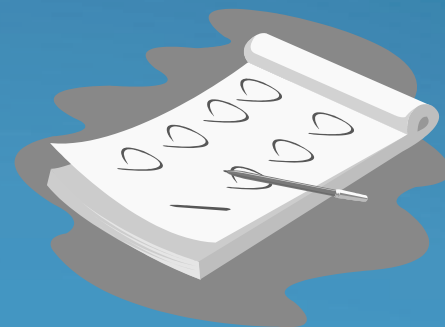
2014年3月22日

(公社)日本トライアスロン連合 審判委員会

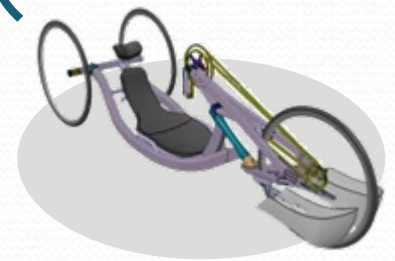
鈴木 仁

# お伝えしたいこと

- パラトライアスロンの現状
- パラトライアスロンの概要—トライアスロンとの違いの観点から
- 加盟団体の皆様へのお願い



# パラトライアスロンの現状



# パラトライアスロンを取り巻く環境

- 2016年リオ・パラリンピックより正式種目
- 障害者の競技と健常者の競技を同一競技団体が管轄するスポーツ
- 急速な成長を続けており、国内では100名規模の潜在的アスリート
- 障害者の社会参加という観点だけでなく、**純粋な競技スポーツ**（立候補プロモ）



# 2013 国内の主なパラトライアスロン

1. WTS横浜大会（5/12、神奈川県横浜市）  
＜ITUパラトライアスロンポイント対象大会、全カテゴリー＞ 24名  
ITUパラトライアスロン審判講習会（約30名）
2. 蒲郡オレンジトライアスロン（6/16、愛知県蒲郡市）  
＜TRI2 - TRI5のみ参加可＞ 3名
3. グリーンピア三木トライアスロンフェスティバル（6/23、兵庫県三木市）  
＜TRI6参加可＞ 2名
4. みやぎ国際トライアスロン仙台ベイセヶ浜大会（7/7、宮城県七ヶ浜市）  
＜TRI2 - TRI5のみ参加可＞ 2名 パラトライアスロン審判講習会（約30名）
5. アクアフィールドチャレンジトライアスロン大会（8/4、岐阜県海津市）  
＜全カテゴリー参加可＞ 13名 パラトライアスロン審判講習会（10名）

その他、エイジグループ部門でのパラトライアスリートの受け入れ

# 2013 海外の主なパラトライアスロン

## 【International Event】

- 1.San Diego ITU Paratriathlon International Event (4/20、USA)
- 2.Yokohama ITU Paratriathlon International Event (5/12、横浜市)
- 3.Besançon ITU Paratriathlon International Event (5/25、France)
- 4.Madrid ITU Paratriathlon International Event (6/2、ESP)
- 5.Edmonton ITU Paratriathlon International Event (6/22、Canada)

## 【Continental Championships】

- 1.Wellington OTU Triathlon Oceania Championships (3/9、New Zealand)
- 2.Subic Bay ASTC Triathlon Asian Championships (4/29、Philippines)
- 3.Agadir ATU Triathlon African Championships (5/25、Morocco)
- 4.Alanya ETU Triathlon European Championships (6/16、Turkey)
- 5.Vila Velha PATCO Triathlon Pan American Championships (6/29、Brazil)

## 【World Triathlon Series Grand Final】

London ITU World Triathlon Series Grand Final (9/13、United Kingdom)

日本選手団：11名

# トライアスロン大会の位置づけ

オリンピック

WTS GF

WTS

ワールドカップ

アジア選手権/アジアカップ

日本選手権/ジャパンカップ

各地域の選手権/各地域の大会

# パラトライアスロン大会の位置づけ





# 2016年、2020年へ向けたロードマップ

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

## 2016年リオデジャネイロ パラリンピックに向けて 強化

現世界ランカー（ITUランキング15位以内）を中心に

- 強化指定選手制度
- ハンドラー・ガイドの養成
- 競技ギアの開発

## 2020年東京 パラリンピックに向けて 普及・育成・TID ⇒ 強化

選手発掘、競技人口の掘り起し、パラ対策PJ内に担当者を配置

- 競技人口増加、ハンドラー・ガイド、クラシファイヤー、審判等の育成
- 国内大会数増加
- 他競技団体との連携

# 2016年リオデジャネイロ・パラリンピック に向けた強化

**目標：メダル1以上、出場者3名以上**

強化方策：

1.現世界ランカー（最低15傑以内）を中心に強化

- 強化指定選手制度の整備
- 弱点種目の強化
- トランジションタイムの短縮（ハンドラー、ガイドの養成・強化）
- 競技ギアの研究開発

2.TID（2014年度～2015年度前半）

- パラトライアスロンに未出場、および他競技から挑戦する選手の発掘
- 国内レースの競技成績により判断

3.育成・普及

- 現競技人口男子30名、女子10名 ⇒ 男子60名、女子20名
- 現国内5大会 ⇒ 各地域開催：10大会開催
- 日本選手権の開催（要検討）
- JPCへの本加盟

# トライアスロンとの相違点から理解する パラトライアスロン

**カテゴリー**

**クラシフィケーション**

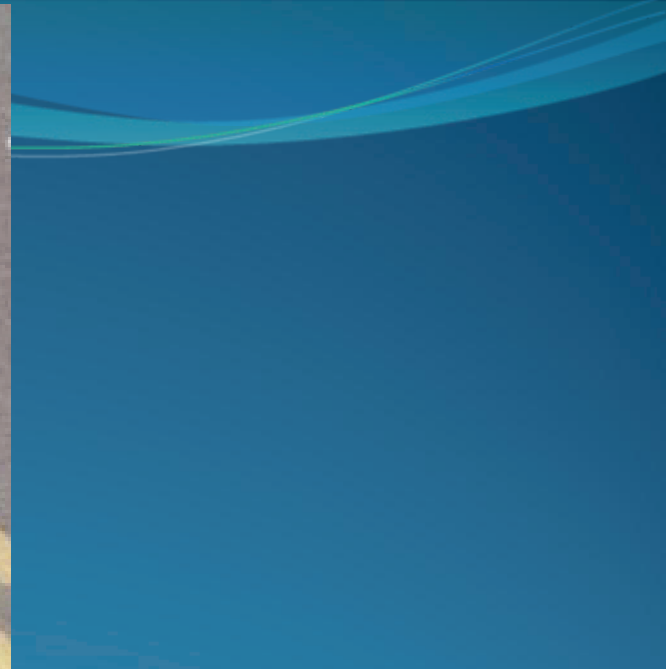
**ハンドラー**

## カテゴリー

- 選手の持つ障害が競技結果に及ぼす影響を最小化するために、その類型と度合いに応じてカテゴリーが設けられている

# パラトライアスロンのカテゴリー

- **シッティング**：両脚に障害を有する選手。バイクパートではハンドサイクル、ランパートでは競技用車いすを使用する。
- **スタンディング**：四肢の切断や麻痺を有する選手。義足などの装具の使用やバイク改造等が許可される。
  -
- **ブラインド**：バイクパートではタンデムバイクを使用、レース全体を通して同性のガイド1名の伴走が義務。















# クラシフィケーション

# クラシフィケーション

- 選手が各カテゴリーで競技する資格を有しているかを確認するプロセス
- クラシフィケーションのプロセス上にある選手の情報は、ITUウェブサイトに掲出されている



申請



面談



認定/リスト掲出



競技

| Country | Surname        | Name         | Gender | Year of birth | TRI class | Profile | Status | Status Int-Nat |
|---------|----------------|--------------|--------|---------------|-----------|---------|--------|----------------|
| ARG     | Geny           | Juan Manuel  | Male   | 1976          | 2         | 19b     | C      | I              |
| ARG     | Gonzalez       | Osvaldo      | Male   | 1985          | 5         | 23      | R      | I              |
| AUS     | Hou            | Lindy        | Female |               | 6b        | 37b     | R      | I              |
| AUS     | Jonkers        | Marayke      | Female | 1981          | 1         | 6       | C      | I              |
| AUS     | McLean         | Claire C.    | Female | 1973          | 4         | 16      | C      | I              |
| AUS     | Pilberman      | Sally        | Female |               | 4         | 24      | C      | I              |
| AUS     | Wendt          | Debbie       | Female |               | 3         | 15      | C      | I              |
| AUS     | Beveridge      | Nick         | Male   |               | 1         | 9       | C      | I              |
| AUS     | Brumby         | Matthew      | Male   | 1978          | 1         | 9       | C      | I              |
| JPN     | Kashiwagi      | Keiko        | Female | 1973          | 6a        | 36      | C      | I              |
| JPN     | Domon          | Nobuyuki     | Male   |               | 5         | 23      | C      | I              |
| JPN     | Ejima          | Daisuke      | Male   |               | 3         | 16&19   | R      | I              |
| JPN     | Furuhata       | Toshio       | Male   |               | 5         | 23      | C      | I              |
| JPN     | Hashimoto      | Kenji        | Male   |               | 3         | 14      | C      | I              |
| JPN     | Inui           | Norihide     | Male   |               | 4         | 16      | C      | I              |
| JPN     | Kimura         | Junpei       | Male   |               | 1         | 11      | C      | I              |
| JPN     | Kuboyama       | Shingo       | Male   |               | 3         | 15      | C      | I              |
| JPN     | Nakazawa       | Ryu          | Male   |               | 6b        | 37a     | R      | I              |
| JPN     | Shirae         | Toshihiro    | Male   |               | 6b        | 37b     | R      | I              |
| JPN     | Soejima        | Masazumi     | Male   |               | 1         | 9       | C      | I              |
| JPN     | Sugawara       | Shigeyuki    | Male   |               | 3         | 14      | C      | I              |
| KOR     | Lee            | Jun Ha       | Male   | 1976          | 5         | 23      | C      | I              |
| LAT     | Drusts         | Martins      | Male   | 1978          | 4         | 24      | C      | I              |
| MAS     | Arifin Bin     | Mohd Sabki   | Male   |               | 4         | 16      | C      | I              |
| MEX     | Fraire Mendoza | Giovanni     | Male   |               | 5         | 23      | C      | I              |
| MEX     | García Cuellar | Hernán Darío | Male   |               | 1         | 24      | C      | I              |

# ハンドラー

- パラトリアスリートはカテゴリー・場面に応じハンドラーと呼ばれる支援者の支援を受けられる
- ハンドラーには、(1)パーソナルハンドラー、(2)LOCハンドラー、(3)スィムイグジットハンドラーの3種類が存在する

# パーソナルハンドラー/LOCハンドラー

- 選手個人に割り当てられた支援者
- 原則選手側が準備するが、大会側が提供することもある
- 原則トランジションエリアで、ウェアや競技用具に関する支援を行う
- TRI 2、3、4、5は1名、TRI 1は2名のハンドラー
- TRI 6a/bはハンドラーなし (ノンプロのガイドがハンドラーを兼務)
- 支援内容が競技結果を左右することも (練習風景)





# スイムイグジットハンドラー

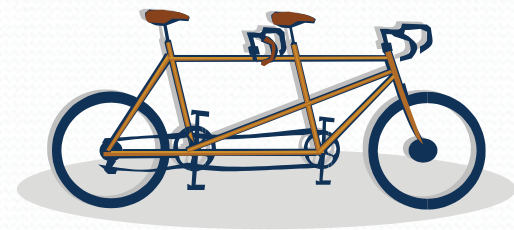
- スイム出口からプリトランジションエリアまでの移動をを支援
- プリトランジションエリア：トランジションエリアへの移動に際し、ウェットスーツの脱衣や義足の装着、日常用車椅子への乗車を行うエリア
- スイムイグジットハンドラーは技術代表による事前トレーニングを受ける



# 競技の流れとハンドラーの支援範囲



加盟団体の皆様へのごお願い



# 加盟団体の皆様へのお願い

**選手の受け皿として、大会が求められています**

- パラトライアスロン大会（パラトライアスロン部門）の創設
- エイジ部門へのパラトライアスリート受け入れ
- 審判員の要請（大会開催にあわせ、審判講習会の開催：パラPJより講師を派遣します）
- 連絡は富川・鈴木仁まで！